見ない写真へ

宮本百合子

どんな写真がとれただろうかしら。まだ見ていない。それなのに、その写真に添える文章を書くというのは何だか変である。

きっと濡縁がうつっていることだろう。濡縁のある庭というと特別な趣でもありそうだが、ここに繁茂しているのは八ツ手と青木である。窪川鶴次郎さんが、うまく樹を植え込んで上げるよと自信ありげに約束してくれたが、実現しないうちに梅雨も上ってしまいそうだ。

〔一九三七年八月〕

底本：「宮本百合子全集　第十七巻」新日本出版社
1981（昭和56）年3月20日初版発行
1986（昭和61）年3月20日第4刷発行
底本の親本：「宮本百合子全集　第十五巻」河出書房
1953（昭和28）年1月発行
初出：「文芸」
1937（昭和12）年8月号
入力：柴田卓治
校正：磐余彦
2003年9月15日作成
青空文庫作成ファイル：